

# GPACC文化講座 ～岐阜市生涯学習 長良川大学～

## 演題

# Making Dances in London

## ～イギリスの中心でダンスを創る～

「バレエ留学」はコンクール全盛期の今の日本ではそれほど珍しくありません。バレエ留学は海外でプロのダンサーを目指しますが、私はイギリスに「振付」を学びに行きました。12年間のイギリス生活、その中で感じた文化の違いや、イギリスで学ぶ意義、そしてダンスを「踊る」と「創る」の違い等、ロンドンで振付家として活動した経験を基にお話し出来ればと思います。

**講師** 川島ナナバレエ団副代表、RK Dance主宰 **小寺 亮太 氏**



1993年 6歳、川島ナナバレエ研究所入学  
2002年 14歳、イギリス留学  
2005年 Royal Academy of Danceによるクラシックバレエ試験のIntermediateに合格  
2006年 川島ナナバレエ団入団  
2009年 ロイハンブトン大学のDance StudiesとDrama, Theatre and Performance Studies (ダンス科と演劇、舞台芸術科)にて学士を修得。  
2011年 ミドルセックス大学院のChoreography(振付科)にて、抜群の成績(with distinction)で修士を修得  
2013年 ロンドンのブレイス劇場による助成事業Resolution! 2013に選出、作品を発表  
26歳、日本帰国、活動の拠点を川島ナナバレエ団に移す  
川島ナナバレエ研究所の教師に就任  
2015年 第39回全国育樹祭にて式典行事メインテーマアトラクション第2章の振付を担当  
2017年 大垣市文化連盟奨励受賞  
川島ナナ、深川秀夫、Erica Stanton, Lalitaraja, Christopher Bannermanらに師事。

**日時** 2021年**11月13日(土)** 14:00～15:30

**会場** ハートフルスクエア-G 中研修室  
(岐阜市橋本町1-10-23)

**参加無料**

(要申込・定員25名)

※参加希望者は、**2021年11月8日(土)**までに080-3688-3678(長野)へお電話ください。  
定員25名(先着順)に達しましたら締め切ります。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来場の際は下記のことにご協力ください。

- ①マスク着用
- ②手指消毒・検温の実施(37.5℃以上の場合は参加できません)
- ③人との距離を1m以上確保